

令和8年度秋田県放課後児童支援員等資質向上研修レポート 抜粋

1	インターネットは便利である反面、使い方を間違えると危険な面もあるので、いろいろなリスクがあることを教えていただけて本当に良かったです。ただ禁止したり取り上げたりするだけでなく、子どもたちと一緒にルールを決めて、安全に利用できる環境を整えることが重要であるとわかりました。日常の何気ない会話から子どもたちの変化を感じ取れるよう、日ごろからのコミュニケーションを大切にしていきたいです。
2	子ども達にとってインターネットやデジタル機器は、必要不可欠なものとなっている。生成AIやメタバース、コンテンツの罠などのトラブルは大人としては大変心配な問題であるが、これらの問題にも子ども達にもしっかり向き合わなければならない局面にきている。ルールを決めて安全にAI等を利用できる環境と、万が一トラブルが起きても安心して相談できる信頼関係を日頃から築いておきたいものだと感じた。
3	当学童でも、インターネット使用をしていない児童の方が少なく、ほとんどが利用している。だからこそ、身近な大人が知識を積極的に更新していかなければならないと感じた。 実際、長男の時も親が関心を持ち、どんなゲームを行っているのか一緒にやってみると内容やネットの繋がりも把握でき、ルールを作る事ができた。児童はまだまだネットの世界を知らずに利用しているが、リスクがある事を話せる環境と関係作りが必要であると考える。
4	研修を受けて、子供達にとってネットやAIはより身近な存在になっていると感じました。Z世代でも認識不足によるトラブルが報告されていることを知り、子供達がネットやAIからの間違った情報をそのまま信じてしまう可能性は高いと思いました。フィルタリング機能の活用や正しい知識や理解が必要だと改めて思いました。学童で過ごす毎日の関わりの中で変化やトラブルのサインに気づけるよう声かけや見守りができたらと思います。

5	インターネットを利用したさまざまな事件や犯罪が多い中で、子どもたちを守るためにはツールを取り上げるのではなく、信頼しつつも日々の小さな変化に目を向け、子どもたちといかにうまくコミュニケーションをとるかが重要なのだと学びました。なにげなくアップしている写真に小さく映り込んだ文字や背景から、今の技術ではすぐに個人を特定できてしまう世の中です。犯罪等に巻き込まれないように大人が十分配慮し、子どもたちもインターネットの危険性や正しい使い方を伝え、安心して相談できる関係づくりが大切だと改めて感じました。
6	ネットの弊害はこれまでも知る機会がありましたが、今回の研修では違った視点から学ぶことができました。AIの利用は最近ではおたよりを作成したりします。「今日は何かお手伝いすることありますか？」と優しく？対応してくれるので、つい相談したりしやすくなります。どんなことにも対応してくれるので大変ありがたいと思っていました。しかしAIも嘘をつく、まちがえと言われました。気を付けているつもりでも騙されてしまうことがあると思うと怖さが増した研修会になりました。